

# MACH Guard 超高濃度600ppm / 250ml

## 高藤式『安定化二酸化塩素』

本製品は、超高濃度の除菌液剤です。原液のままでも、用途に合わせて水で薄めても使用できます。  
薄める際の水の量は下の表を参考にしてください。

効果の目安	原液濃度	内容量
完全除菌 ●	600ppm 超高濃度	250ml

### 【参考 希釈表】



原液100ml に対して加える水の量を表しています

①効果の目安	②希釈濃度	③原液	④加える水の量	⑤加水後の液剤の量	⑥希釈倍率	⑦参考用途
準完全除菌	500ppm 高々濃度	100ml	20ml	120ml	1.2	ウイルス対策、まな板、生ごみ除菌消臭
高レベル除菌	400ppm 高濃度		50ml	150ml	1.5	ウイルス対策、マスクリフレッシュ、除菌消臭全般
高レベル除菌、消臭	300ppm 中高濃度		100ml	200ml	2.0	マスクリフレッシュ、手の除菌、体臭対策
中レベル除菌、消臭	250ppm 中濃度		140ml	240ml	2.4	マスクリフレッシュ、手の除菌、体臭対策
除菌、滅菌 ●	200ppm 中濃度		200ml	300ml	3.0	マスクリフレッシュ、手の除菌、部屋での一時噴霧
	150ppm 低中濃度		300ml	400ml	4.0	手の除菌、部屋での一時噴霧
滅菌	100ppm 低中濃度		500ml	600ml	6.0	部屋での 都度噴霧
	50ppm 低濃度		1,100ml	1,200ml	12.0	加湿器混入[間欠噴霧]
	30ppm 低濃度	1,900ml	2,000ml	20.0	加湿器混入[常時噴霧]	

※希釈表の数値は目安です。厳密な軽量でなくても効果に大きな影響はありません。

### 例：200ppmの濃度の希釈液を作る～

- ステップ 1> 表 ③「原液」のとおり、原液 100ml を計量カップ(Ⅰ)に入れる。  
 ステップ 2> 表 ②「希釈濃度」 200ppmと同じ段の右列 ④「加える水の量」のとおり、水 200mlを計量カップ(Ⅱ)に入れる。  
 ステップ 3> 用意した小分け容器(スプレーボトル等)に計量カップ(Ⅰ)(Ⅱ)をそれぞれ入れ、軽く混ぜる。

→濃度200ppm 300ml (原液100ml + 水200ml) の液剤ができる。

- ※本製品は、直射日光の当たらない振動のない場所で保管してください。  
 ※ 開封後の原液濃度600ppmの 持続期間は約6ヶ月間です。濃度は徐々に低下します。  
 ※稀釈してつくった溶液の濃度の持続期間は約1か月です。濃度は徐々に低下します。

### 【ご使用例】

- ・マスク殺菌 (使い捨てが不要になります)
- ・手、服やハンカチーフなどに吹きかける
- ・使用後のまな板に吹きかけ、数分後に洗い流す
- ・体臭などが気になる時に、患部へ吹きかける
- ・外出後、家や会社に帰って、衣服に吹きかける
- ・室内に噴霧する
- ・生ごみなど、臭いの気になる所に吹きかける
- ・キッチンの三角コーナーなどに吹きかける
- ・ペットの服やトイレに吹きかける
- ・エアコンの吹き出し口に吹きかける
- ・音波型加湿器に入れ噴霧する (低濃度)